



システム理工学部の山崎大志さんが 文部科学省の留学促進プログラムに採用



▲インド・バンガロールに留学中の山崎さん



独立行政法人日本学生支援機構の官民協働海外留学支援制度「トビタテ! 留学JAPAN 日本代表プログラム」に、システム理工学部4年次生の山崎大志さんが採用された。

2014年からスタートしたこのプログラムは、日本の高校生や大学生に対し、諸外国への留学に必要な経費の一部を支給するとともに、グローバル人材の資質や能力を伸ばすため、留学前後の研修や、独自のネットワークを提供する。

山崎さんは、本学で機械工学の勉強をしながら独学でプログラミングを学んでおり、本制度では「IT先進都市で学ぶエンジニアリングとアントレプレナーシップ修行」として、4月から12カ月間、インド・バンガロール、アメリカ・シリコンバレーで留学をする。

宮原知子さんが世界選手権で2位の快挙!



▲初出場の世界フィギュアスケート選手権大会で銀メダルを獲得した宮原知子さん

3月23～29日、中国・上海で行われた「世界フィギュアスケート選手権大会」において、初出場の宮原知子さん(高等部3年生)が合計193.60点で銀メダルを獲得。日本女子の世界選手権メダリストは9人目で、10年連続の表彰台となった。

また、4月16日から19日まで開催された「世界フィギュアスケート国別対抗戦」に日本代表として出場し、女子3位に入賞。この結果、日本は3位入賞を果たし、チームに貢献した。

平成27年度 関西大学 年史資料展示室 企画展 「さようなら天六学舎—85年の歴史展—」を開催

年史資料展示室では、4月1日から9月30日まで、「さようなら天六学舎—85年の歴史展—」を開催し、天六学舎の歴史を振り返るとともに、昨年開催されたクロージング・イベントやオープンデイなどの様子を紹介。

1929年竣工の天六学舎は、52年から93年まで関西大学第2部の学び舎として利用され、多くの優れた人材を輩出してきた。昨年9月に閉鎖が決まったが、天六学舎が担ってきた社会人教育の伝統は、2016年に開設する大阪市北区鶴野町の新キャンパスへと引き継がれる。



▲門標や旧館出入口のランプなど天六学舎ゆかりの品々を展示



天六学舎模型

地域と関わり続ける定住への取り組みが 2014年度 関西まちづくり賞を受賞



▲2014年度関西まちづくり賞授賞式

関西大学が兵庫県丹波市と協働し、同市青垣町を中心に展開するプロジェクト「丹波市における関西大学佐治スタジオと佐治倶楽部によるまちづくり活動—関わり続けるという定住のカタチによる農山村集落の地域再生」が、4月4日、日本都市計画学会関西支部2014年度関西まちづくり賞を受賞した。

同プロジェクトは2007年に活動を開始し、「住み続ける」だけでなく、「地域に「関わり続ける」という新しい定住スタイルを実践することで、農山村集落の地域再生を目指している。

『学縁』給付奨学金制度を構築

関西大学は、創立130周年記念事業の一環として、「関西大学『学縁』給付奨学金制度」を構築。学ぶ意欲はあるが、経済的理由により修学が困難な学生に対し、支援することに重点を置く。

この制度構築により、現行の第1種給付奨学金を入学前予約採用型給付奨学金へと改編するなど、学業奨励型から経済支援型にシフトするのが特長である。

一方で、奨学生同士の交流を図る『葦の葉倶楽部』を設立。奨学金をきっかけに、新たな絆を築く場として期待されている。